

神ぞ知る 罪なき罪に 果つるとも

生き残るらむ 大和魂やまとだましい
 (辞世)



堀内 豊秋

わが国最初の落下傘部隊長らっかさん・堀内豊秋海軍中佐は、昭和十七年（一九四二年）

一月十一日、オランダ領であったインドネシアのメナドに、三百余名を率いて降下、オランダ軍をうち破り、愛情をもって現地の軍政に当たったので、残酷なオランダの支配から解放された住民たちは、堀内を神様のように慕したいました。

このため、日本の敗戦後、戻ってきたオランダ軍に憎まれ、部下の罪を自分がかぶり、B級戦犯として昭和二十三年九月メナドで刑死けいしします。収容所での立派な態度、堀内への住民の変わらぬ尊敬を見、さすがにオランダ軍も銃殺刑執行しつこうの

際、儀仗兵を立てて、武人としての敬意を表したのです。堀内は目隠しを断り、落ち着いて死に就きました。タイトルに掲げたのはそのときの辞世の歌です。

堀内は明治三十三年、現在は熊本市に編入された四方寄に生まれました。国道沿いに美しい白壁のある大きな屋敷で、今は市に寄贈され記念館となっています。記念館ではありませんが、堀内大佐の記念館とは称せず「御馬下の角小屋」という歴史観光施設で、御馬下は地名、角小屋は角の店の意です。庄屋であり、造り酒屋であった堀内家は、大名行列の休息所でした。その関係の豊富な資料が残され展示されています。しおりの片隅に「海軍体操の創始者、堀内豊秋大佐の生家でもあります」と遠慮がちに書かれています。

平成四年（一九九二年）、すべて現地住民の提案と企画によって、落下傘部隊の降下五十周年記念式典がメナドで行われ、堀内の長男の一誠氏や旧部隊員・海軍兵学校の教え子たちは、町ぐるみの大歓迎を受けたのでした。

堀内は海軍体操の考案者としても知られています。デンマーク体操をもとにし

た、これまでの軍隊式徒手体操とは異なる、美しくリズムミカルな体操で、現在も海上自衛隊体操として受け継がれています。

靖国神社の遊就館^{ゆうしゅうかん}・広島県江田島の海上自衛隊教育参考館・鹿児島県鹿屋基^{かのや}地史料館などには、堀内大佐関係の展示があり、その人物や業績が、見学者に深い感動を与えます。

※堀内 豊秋（ほりうち とよあき・昭和二十三年（一九四八年）没・四十七歳）

◎ 海軍体操の創始者の堀内豊秋は、わが国、最初の落下傘部隊長であったとは……。

◎ 辞世の歌「神ぞ知る 罪なき罪に 果つるとも 生き残るらむ 大和魂」に泣かされました。

（M生）